



## ありあけ

2021(令和3)年  
9月1日(水)

## 「思い」を強く持つ

校長 前嶋 正秀

いよいよ本日から第2学期がスタートしました。生徒の皆さんは新たな目標と期待、そしていくばくかの不安を感じながら、今日を迎えたことと思います。今学期もひとりひとりが「自ら学ぶ」気持ちを持って、学校生活をスタートさせましょう。

さて前号では、「『やる気』と『目標』との関係」について書きました。今月はこれにやや関連して、「『思い』を強く持つ」ということについて述べたいと思います。この話は高校3年生の保護者会や生徒集会でも話させていただきましたので、お聴きになった方もいらっしゃると思いますが、とても腑に落ちる話であると同時に、私自身が「是非こうありたい」と強く思っていることもあり、改めて紹介したいと思います。

京セラという会社や、現在のKDDIの創業者である稲盛和夫さんという実業家のお話です。稲盛氏は今から10年ほど前、日本航空(JAL)の再建を担った方として大変有名な方ですが、この稲盛氏がかつて母校で講演をされた時に話された演題が、「君の『思い』は必ず実現する」というものでした。

稲盛氏は、「『こうしたい』という『思い』を心に抱き、その『思い』を信念にまで高めることで、その『思い』は必ず実現する」という意味のことをおっしゃっています。皆さんで言えば、「将来は〇〇になりたい」とか「〇〇大学に合格したい」というような思いを持っている人もいないかと思えます。

多くの人は、自分の思いに向かって努力を続ける中、どうしても不安な気持ちが芽生えてきて、「でもちょっと厳しいよなあ」とか「俺には(私には)無理かもなあ」とか考えてしまいがちですが、稲盛氏は「そのように思ったら、絶対にことは成就しない」と断言しています。とは言え、人間どうしても不安な気持ちは起こってくるものですね。そのような後ろ向きな気持ちが起きそうになったら、すぐにそれを払拭するように努めなければならない、自分の可能性をただひたすらに信じて、単純にその思いが実現することを強く思い続けるだけでいい、心底その思いに立てれば、今度は頭を一生懸命使って、「ではどうすればやり抜くことができるか」と、具体的な戦略・戦術を練っていくことができる、ひたすら努力を続けることができる、稲盛氏はそのように言っています。人間の「思い」というものはこれほど、我々の想像を超えて、すさまじいパワーを秘めているものだ、と稲盛氏は説いています。

実際、稲盛氏はこの「思い」を強く胸に抱くことで、当時はほとんどの人が不可能だと思っていた、日本航空の再建を実現させました。

前号に続いて、「言うは易く行うは難し」という話を紹介しましたが、将来皆さんが、「豊かな人生を送る」ために、そしてそのための進路実現に、ほんの少しでも参考になればと思ってこの話をさせてもらいました。まずは「自分はこうしたい、こうありたい」という思いを持つことからスタートさせてみてはどうでしょうか。

## 8月のご報告

本校ホームページ「最新情報」ページをご覧ください。

<https://www.ariake.kaetsu.ac.jp/#page2>

【高校2年】夏期集中講座を実施しました。

【全校生徒・保護者の皆様へ】第2学期からの対応等につきまして

【高校新クラスの日常】第19号 第1回A組会

【水泳同好会】全国大会での活躍

映画の自主上映会「マイクロプラスチックストーリー～僕らが作る2050年～」

\*今後の予定については、急な変更の可能性もありますので、学校からのメール連絡をよくご確認ください。

次回は10/1(金)発行予定です。(広報部)

